

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【美術】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備 考
9 開隆堂出版	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、図画工作科と美術科の関連を説明した「学びの地図」から学習をスタートし、社会との関わり方やこれからの生き方や未来を考えさせることができるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各題材に「学習のポイント」を示し、生徒がイメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、必要なページに「美術の用語」欄を設け、造形的な特徴に着目することができるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、題材に沿った「学習のポイント」で話し合う場を設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。また、各題材にQRコードを掲載し、教科書に掲載した作品以外の参考作品例などを見たりすることができるようにするなど、学習効果を高める工夫が見られる。</p> <p>(4) 表現することや創造することの楽しさを感じさせるために、住んでいる地域や身近な生活の中で題材となるものを取り上げ、発想や制作の各段階において、参考となる画像や説明文を示すことで、意欲的に作品化するための工夫が見られる。また、完成した作品の校内外での多様な展示の仕方を紹介するなど、多くの人に鑑賞してもらうことを意識させることで、更なる創作の意欲に繋がる工夫も見られる。</p>	<p>1年 P6~7</p> <p>2・3年 P34~35</p> <p>2・3年 P14</p> <p>2・3年 P47</p> <p>2・3年 P54</p> <p>2・3年 P58</p> <p>1年 P40~41</p> <p>2・3年 P78~79</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、3年間の美術科で何をどのように学ぶか見通せる学習からスタートし、美術科の学びを人生や社会に生かそうと考えさせることができるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、表現中心の題材に、生徒が実際に試行錯誤しながら制作する過程を示し、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各題材の説明に制作や鑑賞の視点を示し、造形的な特徴に着目できるように工夫している。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、題材の鑑賞作品に対して鑑賞の視点を設定し、対話を通して生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。また、題材の随所にQRコードを掲載し、用具の使い方や制作の流れが確認できるようにするなど、学習効果</p>	<p>1年 P6~9</p> <p>2・3年 P34</p> <p>1年 P12</p> <p>2・3年 P23</p> <p>2・3年 P6</p> <p>2・3年 P24</p>

	<p>を高める工夫が見られる。</p> <p>(4) 表現することや創造することの楽しさを感じさせるために、作品の発想・構想の手立てを写真とともに詳しく示し、様々な表現技法や制作過程を具体的に紹介するなどして、自分の表現に生かしたいと思えるような工夫が見られる。また、題材の初めに、表現につながる鑑賞作品を掲載し、鑑賞と表現を一体的に学べるような構成になっており、主体的な学びを通して、意欲を喚起させる工夫も見られる。</p>	<p>2・3年P56～59</p> <p>1年 P40～43</p>
118 日本文 教出版	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、中学3年間の美術科の学びを見通すことのできる「成長地図」の学習からスタートし、自分と向き合いながら、将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、美術1の巻末資料に「発想や構想の手立て」を示し、全題材において、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、題材の冒頭に活動や目的を示し、造形的な特徴に着目することができるように工夫している。</p> <p>(3) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各題材に「造形的な視点」として対話が生まれるような問いを設け、生徒が学習に取り組みややすくする工夫が見られる。また、題材の随所にQRコードを掲載し、見たい角度や距離感から立体作品を鑑賞することができるようにしたりするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 表現することや創造することの楽しさを感じさせるために、学年の発達の段階に応じた3分冊構成の題材例の提示や作者の言葉や発想方法の紹介、生徒の制作情景を多数紹介することにより、主体的に考え、意欲的に制作できるような工夫が見られる。また、表現することの素晴らしさを体感できるように、興味を惹くタイトルや原寸大の図版が見やすいレイアウトで構成され、動機づけができるような工夫も見られる。</p>	<p>1年 P6～7</p> <p>2・3下P44～45</p> <p>1年 P58～59</p> <p>2・3上 P10</p> <p>1年 P12</p> <p>2・3上 P10</p> <p>2・3上P34～35</p> <p>2・3下 P25</p>